

令和7年度第1回習志野市福祉問題審議会会議録

1. 開催日時 令和7年4月21日(月)午前10時～

2. 開催場所 習志野市庁舎グラウンドフロア AB会議室

3. 出席者

【会長】	習志野市民生委員児童委員協議会会長	高橋	君枝	氏
【委員】	習志野市社会福祉協議会会長	田久保	浩一	氏
	習志野市高齢者相談員	佃	和子	氏
	習志野市地域赤十字奉仕団委員長	鈴木	とし江	氏
	習志野市あじさいクラブ連合会会長	川地	栄四郎	氏
	千葉明德短期大学非常勤講師	阿部	友理	氏
	習志野市青少年育成団体連絡協議会会長	宮内	宏和	氏
	公募委員	森山	加津子	氏

【事務局】	健康福祉部	部長	奥井	良和
	健康福祉部	次長	中村	裕美
	健康福祉政策課	係長	樽山	義高
		副主査	笹川	佳男
		副主査	河合	智平

【説明員】	こども部	部長	佐々木	博文
		次長	奥山	昭子
	こども政策課	課長	鈴木	貴幸
		主幹	新井	理香
		係長	清水	隆之
		主任主事	武本	希
	こども保育課	課長	鶴岡	佑介
		主幹	松田	裕美
		係長	福本	勇真
		係長	辻村	純子

4. 議題

- 第1 会議の公開
- 第2 会議録の作成等
- 第3 会議録署名委員の指名

第4 協議

(1) 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準（案）について

第5 報告

(1) 習志野市第3期地域福祉計画の策定について

第6 その他（事務連絡等）

5. 会議資料

協議事項 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準（案）

報告事項 習志野市第3期地域福祉計画
習志野市地域福祉計画策定基本方針
第3期地域福祉計画素案策定について

6. 議事内容

(1) 会議の公開について

原則公開となっているが、内容により、公開・非公開の判断が必要になった際は、その都度諮ることについて、了承を得る。

(2) 会議録の作成等について

要点筆記とし、会議名、開催日時、開催場所、出席者指名、審議事項、会議内容、発言委員名及び所管課名を記載した上で、市ホームページ及び市役所グランドフロアの情報公開コーナーにおいて公開することについて諮り、了承を得る。

(3) 会議録署名委員の指名

高橋会長から会議録署名委員として、川地委員を指名。

(4) 協議

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準（案）について

【協議事項の資料に基づき、担当部局であるこども部こども政策課より説明】

<質疑応答>

(宮内委員)

児童がバスに置き去りにされる事例が起きているため、必ず複数人で点呼を取る等対応していただきたい。また室内の保育についても常に複数人で対応いただきたい。

(新井主幹)

まず安全・安心が第一だと考えている。また、バスの件は国からもガイドラインが出ており、バスを利用する場合はそれに基づき質を保っていきたいと考え

ている。

職員配置の方も、市の基準はすでに手厚く設定しているが、安全・安心を確保し、こどもの健全な成長を助長するということを、主に置きたいと考えている。

(阿部委員)

国の基準に上乘せしており、よく考えていただいていると感じた。

また、医療的ケア児の受け入れについてはどのように考えられているか。

(鶴岡課長)

医療的ケア児の受け入れについては検討中である。医療的ケア児については国の示す委託費に加算項目もあるので、当然国の方でも受け入れを進めていきたい考えであると、市としては理解している。

(阿部委員)

受け入れには専門的知識を持った職員が必要ということは理解しているが、研修等を行い受け入れの体制を作っていくしてほしい。

(新井主幹)

医療的ケア児を受け入れるにあたっては、安全・安心の確保が絶対条件である。

どのような仕組み、環境を整えたら、お受けできるのか慎重に検討していきたい。

(5) 報告

習志野市第3期地域福祉計画の策定について

【報告事項の資料に基づき、担当部局である健康福祉部健康福祉政策課より説明】

<質疑応答>

なし

(6) その他(事務連絡等)

今期最後の福祉問題審議会と思われるため、各委員から一言ずついただいた。

(健康福祉部 奥井部長)

福祉問題審議会への出席に感謝を伝えた。令和5年8月の委嘱以降、これまで2回にわたり貴重な意見と助言を受けたことに謝意を述べた。委員の任期は令和6年7月31日までであり、本日の審議会が今期最後となる見込みであることを説

明した。次期も継続して協力をお願いする可能性があること、また退任委員には今後も福祉行政への支援をお願いした。

(高橋会長)

本日の日程は以上となる。

これをもって、令和7年度第1回習志野市福祉問題審議会を閉会する。

令和7年5月12日

会 長 高 橋 君 枝



署名人 川 地 栄 四 郎



川地栄四郎